

科目名 (英)	衛生管理Ⅲ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	大久保 幸美
学科・コース	美容師科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 全15コマ 水曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次に学んだ事の振り返りと復習。1・2章では保健所や行政の役割などを整理して学ぶ。特に保健に関しては様々な統計が混在しているため、それぞれの定義をしっかりと解釈し、曖昧な理解を回避する。3章では暗記事項が多いため、スライドや事例などを挙げ、学生たちが記憶しやすい授業を行う。4章についても暗記が基本となるが、その際は、フローチャートなどを作成し、見やすくわかりやすい資料をもとに説明していく。消毒法の実際については、希釈計算に対する苦手意識を持たないよう、実験方式で行うなどメリハリのある授業を心掛け、学生たちの実践的理解を目指す。難解なテーマに関してはわかりやすいスライドを準備して授業を展開していく。							
【授業を通じての到達目標】							
公衆衛生・感染症・消毒法ともに、暗記事項が非常に多く、混乱しやすい科目ではあるが、実生活や社会の動向と併せて説明することで、学生たちに明確なイメージを持ってもらうことを目標とする。確認テストの回数を多くし、学びを複数回上書きすることでより確実な知識として身につけてもらう。中間テストや期末試験については、国家試験の動向を踏まえ、頻出問題を繰り返し解くことで、本試験に向けて正解率の精度を上げていくことを達成目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教科書・講師作成PP資料(毎回プロジェクター使用)				各回のテスト範囲を事前に伝えることで、自宅学習・事前学習の動機づけとする。			
回	授業概要					テスト配点	
1	1編 1章 公衆衛生の概要					30問(2択問題) 2点満点	
2	1編 2章 保健					30問(2択問題) 2点満点	
3	2編 1章 環境衛生					30問(2択問題) 2点満点	
4	3編 1章 感染症総論 1節 2節					30問(2択問題) 2点満点	
5	3編 1章 感染症総論 3節					30問(2択問題) 2点満点	
6	3編 2章 感染症各論					30問(2択問題) 2点満点	
7	中間テスト① 前半まとめ					20問(4択問題) 10点満点	
8	4編 1章 消毒法総論					30問(2択問題) 2点満点	
9	4編 2章 消毒法各論					30問(2択問題) 2点満点	
10	4編 3章 消毒法実習 1節(計算)					30問(2択問題) 2点満点	
11	4編 3章 消毒法実習 2節・3節(実際)・ 5編					30問(2択問題) 2点満点	
12	中間テスト② 後半まとめ					20問(4択問題) 10点満点	
13	衛生管理 総復習 期末試験対策 (公衆衛生・環境衛生・感染症)						
14	衛生管理 総復習 期末試験対策						
15	期末試験 衛生管理 全体範囲					30問(4択問題) 60点満点	
【特記事項】衛生管理に関しては、前半の感染症までの範囲で一度確認テストを行い、後半も消毒法の範囲で確認テストを行う。(中間テストとして計2回)2年次は試験回数を多く持ち、国家試験への意識の向上を目指していく。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	化粧品化学Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西島 明菜
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科			曜日・時間	(木)1組3限/2組4限/3組1限/4組2限		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験10年以上、美容技術理論、衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。 国家試験を意識し、過去問、演習問題を解いていながら理解を深め、国試合格を目指していきます。 就職先でのサロンワークにも知識として活かせるよう、身近なもの関連付けながら学んだことを定着できるよう授業を展開します。							
【授業を通じての到達目標】							
教科書の内容を国家試験の出題傾向や、問題の出方を把握。最終的に合格出来るレベルになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
化粧品化学の教科書・プリント(授業に応じて配布)							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	スキンケア製品						
2	スキンケア製品					小テスト 5点	
3	メイクアップ製品						
4	メイクアップ製品						
5	メイクアップ製品					小テスト 5点	
6	中間テスト前復習・演習						
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	ヘアケア製品						
9	パーマ剤						
10	カラー剤						
11	スカルプ製品・育毛剤					小テスト 10点	
12	総合問題						
13	総合問題						
14	定期テスト					配点 60	
15	定期テスト 解説						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	文化論 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
						曜日・時間	木1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
文化論教員資格認定を受けた教員が、美容文化論の講義をする。理容業、美容業の歴史を理解し、さらに髪型、化粧、服装の変遷流行を学ぶ。そこに見える風俗と時代背景とのつながりを読み解き、流行のメカニズムを知り、これからの時代のデザインを起すヒントを得る。文化論は美容師国家試験科目であり意欲をもって取り組み修得するものとする。							
【授業を通じての到達目標】							
理容美容、および理容業、美容業の成り立ちを知る。日本のファッション文化史を縄文時代から2000年以降まで修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
文化論教科書 シラバス プリント							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	第1章総論 第2章日本の理容業・美容業の歴史 1・2節						1
2	第2章 日本の理容業・美容業の歴史 3・4節						1
3	第3章ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳時代						1
4	第3章 第2節 古代 (飛鳥・奈良・平安)						1
5	第3章 第3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国)						1
6	第3章 第4節 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山)						1
7	第3章 第5節 近世Ⅱ(江戸時代髪型・化粧・服装)						2
8	中間テスト 第1章～第3章5節までの範囲 30問						20
9	第3章 第6節 近代Ⅱ(明治・大正・昭和20年までの髪型)						2
10	第3章 第6節 近代Ⅱ(明治・大正・昭和20年までの化粧・服装)						2
11	第3章 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)						2
12	第3章 第8節 現代Ⅱ(1960年代～1970年代)						2
13	第3章 第9節現代Ⅲ(1980年代～1990年代)第10節現代Ⅳ(2000年代以降)						2
14	第1章～第3章まで 定期試験に向けての対策講義						2
15	定期試験 第1章～第3章までの範囲 30問						60
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容技術理論Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	市川 てるみ
学科・コース	美容師科	授業 形態	筆記座学	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	(金)3組1限、4組2限、1組3限、2組4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師としてサロンワーク、スタジオワーク、コンテストの経験を経て、現在、美容師とTV雑誌撮影のヘアメイクを25年、 教員として15年以上勤務しています。美容師国家試験の合格を目指す学生の為、現場の状況を伝えながら、美容技術の 知識を深めていく。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師国家試験の合格を目指し、各分野の美容技術を理解できるようになる。国家試験問題に対応できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
初回美容技術理論ⅠⅡ教科書2冊、筆記用具類(蛍光マーカー含む)、ノート							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	12章 花嫁、着付け						
2	12章 着付け						
3	着付け復習、11章日本髪					5点	
4	11章 日本髪						
5	10章 メイクアップ概論、道具、ベースメイクアップ						
6	10章 各部メイクアップ、まつ毛エクステンション					5点	
7	今までの振り返り、復習、中間テストに向けて確認						
8	中間テスト					20点	
9	中間テスト振り返り、復習、確認						
10	9章ネイル技術、概論、道具						
11	9章ネイル技術手順、ネイル技術注意事項、まとめ					5点	
12	8章エステティック概論						
13	8章エステティック、復習					5点	
14	今までの復習、振り返り、定期試験対策						
15	定期テスト					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	運営管理	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高橋由香
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師養成施設の講師歴は15年以上です。高等学校第1種免許(公民)取得、更新済みです。会社員(従業員)また個人事業主(経営者)の経験もあります。将来皆さんが美容師として働く際に役立つ専門知識だけでなく、顧客として、従業員として、経営者としての観点から普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。 目的: 経営者の視点を理解し何を求められているのか、様々な視点から考えることができる基本的な知識を学び、美容の技術を習得する皆さんの力を顧客のために活かせるようにすることを目的としています。 概要: 美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、経営者の考え方や経営が果たす責任・役割、人を雇うことの責任や働くうえで求められる「年金、健康保険、雇用保険、労働者災害補償保険等」の各種保険や資金管理・税金について学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師(社会人)に必要な基本的な知識を身に付ける。 様々な立場からの「物の見方・考え方」ができるように視野を広げる。 世の中の変化と競争に対し、柔軟な対応ができる美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 運営管理							
回	授業概要					テスト配点	
1	本科目の説明 経営とは・経営者とは					小テスト 1点	
2	理容業・美容業の経営					小テスト 1点	
3	資金管理(収支・損益・コスト・税金)					小テスト 2点	
4	人という資源・労働者の権利					小テスト 2点	
5	美容の仕事と健康・社会人としての責任					小テスト 2点	
6	社会保険(公的年金)					小テスト 2点	
7	中間試験 (中間試験終了後)社会保険(公的年金)					中間試験 20点	
8	中間試験の解説 社会保険(医療保険)					小テスト 2点	
9	社会保険(医療保険)					小テスト 2点	
10	社会保険(労働保険)					小テスト 2点	
11	サービスデザイン					小テスト 1点	
12	マーケティング					小テスト 1点	
13	接客の実践(店内環境、受付、提案・質問、説明・調整、謝罪)					小テスト 1点	
14	接客の実践(トラブルと対応)					小テスト 1点	
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】 小テストは、Teamsを使用します。 中間試験、定期試験は、問題と解答用紙を配布して実施する予定です。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 (ワインディングⅢ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	張 由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	月・火
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロンワーク プライダル 撮影の仕事を経験し基礎技術の重要性を知る。 間違いのない基礎技術をゆっくり丁寧に学びワインディングの技術を向上させる。							
国家試験に向けて全頭20分で正確に仕上げられるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	正確な巻き方を確認する。全頭23分で仕上げる						
2	ブロッキング強化、配列の復習と確認。全頭23分で仕上げる						
3	巻き方の間違いを治す。全頭22分で仕上げる						
4	姿勢と巻き方を意識する。全頭22分で仕上げる						
5	上巻きの強化。全頭21分で仕上げる						
6	下巻きの強化。全頭21分で仕上げる						
7	中間テスト全頭20分で正確に仕上げる						20点
8	国家試験の採点を覚える。全頭20分で仕上げる						
9	ブロッキングとセンターの強化。全頭20分で仕上げる						
10	フロント～右面の強化。全頭20分で仕上げる						
11	左面の強化。全頭20分で仕上げる						
12	姿勢の見直し。全頭20分で仕上げる						
13	配列を綺麗にしていく。全頭20分で仕上げる						
14	国家試験衛生の強化。定期テスト全頭20分で仕上げる						60点
15	巻き方を確認修正。全頭20分で仕上げる						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容実習(オールウエーブⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	月・火
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験課題を長きに渡り指導する中で合格に導くノウハウを蓄積した教員が、実技第2課題であるオールウエーブセッティング技術を合格レベルに到達させる授業を行う。美容師への第一歩となる資格試験合格へ向け前期に習得した基礎にのっとりさらに完成度の高い作品をつくる。							
【授業を通じての到達目標】							
全頭25分で仕上げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	1年次の復習と振り返り						1
2	1段目から3段目までの復習						1
3	4段目・5段目リフトカールの復習						1
4	6段目メイポールカールを覚える						1
5	7段目クロッキノールカールを覚える						1
6	コームの使い方、姿勢、立ち位置の見直し タイムに入れる練習						1
7	中間テスト30分						20
8	ウエーブ7段の縦幅をそろえる						2
9	ウエーブとトリッジの割れ、重なりをなくす						2
10	左右、中央エリアと分け取り線の整え方を知る						2
11	リフトカールのステムとシェーブ・ピンングの確認						2
12	ウエーブとトリッジの割れ、重なりをなくす						2
13	目線を下げてピンングの位置を揃える						2
14	定期試験に向けて課題を見つけ完成度を上げる						2
15	定期試験 全頭25分						60
【特記事項】 ●評価は、授業態度、忘れ物有無等も加味して総合判断する。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習(国試カット)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	飯野 井坂
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月・火曜日いずれかの1,2限か3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>担当2名とも美容専門学校で教育に10年以上関わって来ました。複数の学校での教育経験もあります。皆さんが必要となる美容師免許習得に必要な知識・技術だけでなく、将来働く際に役に立つと思われる柔軟な基礎技術をお伝えします。</p> <p>目的:美容国家試験で必要とされる実技課題を製作するために欠かせない、技術・理論を学ぶ。</p> <p>概要:この科目では、将来使うと思われる技術のベースとなる基礎を身に付けてながら、国家試験実技合格レベルに到達、美容師免許習得に欠かせない重要な基本的なスキルである。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
規定タイム内で、未完成とならない作品を作ることが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
国家試験で使用する教材(初回持ち物参考)				前回授業内容の復習。前回到達目標に到達できなかった場合は復習しながら到達しておく。(欠席・公欠などの場合も同様)また公欠の場合は満点採点はせず課題提出により小テストの配点分評価をする。			
回	授業概要						テスト配点
1	授業の内容説明および作業準備、CUT基礎技術の確認、作業手順①						
2	作業手順の導入②						
3	作業手順の導入③						
4	手順全体の復習						
5	フロントCUTまでの手順を反復						5点
6	第3ブロックまでの手順を反復						5点
7	第1ブロックまでの手順を反復						中間20点
8	部分ごと区切りながら練習						
9	8回目の復習とスピードアップ						
10	全行程通して27分でカットする						2点
11	全行程通して25分でカットする						2点
12	全行程通して22分でカットする						2点
13	全行程通して20分でカットする						2点
14	全行程通して20分で残り毛が無いようにカットする(チェックカット導入)						2点
15	全行程通して20分で残り毛が無いようにカットする						総合確認60点
【特記事項】上記内容は対面登校を想定してのシラバスになる。オンライン、分散登校などの場合は2セメの最終目標到達に向けて随時内容は変更する。公欠の場合そのままにしておく授業進行についていけなくなったり、習得すべきスキルが身につかないため、自分で休んだ日の内容を次回授業まで確認・実践しておく。(体調不良での欠席等も同様)また小テストなどの実施は進行具合で変更する場合もある。小テスト・中間テスト等の際公欠だった場合は別日に別問題で再テストする。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	就職講座 I	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	神谷・野村・鈴木・尾崎
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>サロンでの実務経験のある職員が、就職活動に必要なスキル・国家試験に対する取り組み方などをグループワークを通して授業展開を実施する。 美容師(職業人)として必要な身構え・気構え・心構えを理解し、目標に向けて、行動する事が出来る。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>国家試験への意欲を高め、授業に臨む姿勢をつくることができる。 就職活動が活発になり、意欲的に取り組むことができる。 学校行事を通して目標設定やスケジュール管理を行えるようになる。国家試験の概要を理解し、必要な知識を身につけていく。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	自己紹介(すごろく自己紹介)・サポートアンケート・QJ就職フェアについて					基礎学力チェック	
2	チームビルディングのグループワーク(LEGO) 就職活動について<SNSメールのやりとりの仕方>					基礎学力チェック 5点	
3	就職活動について<電話マナー・オンライン面接マナー>					基礎学力チェック	
4	封筒宛名書き復習・人間力チェック					基礎学力チェック 5点	
5	ITリテラシー・就職関係(履歴書作成)・筆記模試問題					基礎学力チェック 5点	
6	就職関係(履歴書作成)・筆記模試問題					基礎学力チェック 5点	
7	敬語問題・就職関係(履歴書作成)・筆記模試問題					基礎学力チェック 5点	
8	未内定者ガイダンス詳細・コミュニケーション力を鍛えるグループワーク(メモリーテスト)					基礎学力チェック	
9	就職関係(履歴書作成)・筆記模試問題					基礎学力チェック 5点	
10	内定用写真・卒業アルバム用写真撮影					基礎学力チェック	
11	国試筆記模試問題					なし	
12	コミュニケーション力を鍛えるグループワーク					基礎学力チェック 5点	
13	一般常識問題・自己分析(認知特性)ワーク・夏休みに向けた就活スケジュール確認					基礎学力チェック 5点	
14	コミュニケーション力を鍛えるグループワーク(「はあ」って言うゲーム)					基礎学力チェック	
15	基礎学力テスト総集編					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅲ (選択授業)	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	飯野・佐々木・張・松永
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	木・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容業界で美容師としての実務、運営、教育に20年以上関わって来ました。複数の学校での教育経験もあります。皆さんが必要となる美容師免許習得に必要な知識・技術だけでなく、将来働く際に役に立つと思われる柔軟な基礎技術をお伝えします。 目的：美容国家試験で必要とされる実技課題を製作するために欠かせない、技術・理論を学ぶ。 概要：この科目では、将来使うと思われる技術のベースとなる基礎を身に着けながら、国家試験実技合格レベルに到達、美容師免許習得に欠かせない重要な基本的なスキルである。							
【授業を通じての到達目標】							
規定タイム内で、国家試験に合格できる作品を作れるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				前回授業内容の復習。前回到達目標に到達できなかった場合は復習しながら到達しておく。(欠席・公欠などの場合も同様)			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	国試第二課題 部分練習・全頭練習(WDかAWは状況を見て告知)						1点
2	国試第二課題 部分練習・全頭練習(WDかAWは状況を見て告知)						1点
3	国試第二課題 部分練習・全頭練習(WDかAWは状況を見て告知)						1点
4	国試第二課題に決まった課題の 部分・全頭練習						1点
5	国試第二課題に決まった課題の 部分・全頭練習						1点
6	国試第二課題に決まった課題の 部分・全頭練習						1点
7	国試第二課題に決まった課題の 部分・全頭練習						1点
8	国試第二課題に決まった課題の 部分・全頭練習 模試に向けて衛生の確認						1点
9	国試第二課題に決まった課題の 部分・全頭練習 模試に向けて衛生の確認						1点
10	模試振り返り 弱点強化						1点
11	次回模試に向けての練習						2点
12	次回模試に向けての練習						2点
13	模試振り返り 弱点強化						2点
14	次回模試に向けての練習						2点
15	次回模試に向けての練習						2点
【特記事項】 模擬試験の結果を中間・総合確認試験の点数に反映する。授業内容はWD、AW、国試Cの3課題の通常授業での進行状態により、課題を入れ替えて行うものとする。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			